

# ご挨拶

## 第十九世住職 渡邊隆厚



謹啓 盛夏の候、暑さ厳しい折ご尊家の皆々様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、不動院のご本尊は『不空羈索觀音』様ですが、『不動明王』様ですか?と聞かれる方が多いようですが、不動院では、『不動明王』を脇仏としてご本尊『不空羈索觀音』の向かつて右側にお祀りさせて頂いております。また皆様のお仏壇でも、

不動明王をご本尊として大日如来と一緒に祀りすることも多いと思います。

不動明王のご説明をさせて頂きますと、日本には弘法大師空海様が持ち込んだとされており、その後日本に広く信仰が広まり、全国各地でお不動さん不動尊等と呼ばれ親しまれています。不動明王は五大明王といわれる四方の方角を守る明王の中心的な存在であり、密教の最高位に位置づけられる大日如来の成り代わった御姿です。特徴的な怒っているようなお顔は普段は柔和な大日如来が優しさだけでは通用しない人々の心の迷い・煩惱を取り除き全ての人々を救済するため、忿怒のお顔を示されています。また、右目は天に向けれられ、左目は地面に向かれています。天地眼と呼ばれているこの眼は、天地を隅々まで見守っていることを表しているのです。邪悪な相手には徹底的に厳しく、人々が間違った道に進もうとした時には、正しい道へと戻れるように諭してくれます。また、背中にはあらゆる障害、煩惱を焼き尽くす火炎を背負い、瞬たりとも弱まるなどのない燃えさかる火炎の中に住しております。この御姿を通して、日頃の努力を怠らず、積み重ねていくことで道が開かれることを示しています。お立ちになる重い大きな石、盤石はすべての人を救うため、あらゆる苦難に耐える決意を表しています。煩惱に迷うことなく、何事にも屈しない忍耐力を育みなさいという御姿を示します。右手には俱利伽羅剣という剣を握っています。この剣は物事の善惡を見極める正しい判断を象徴し、邪悪な心や迷う心を断ち切ることを表しています。左手に持っている縄は縄索と呼ばれ煩惱を縛つて封じ、悪い心を縛り上げ、煩惱から抜け出せない人を縛つて釣り上げてでも救い出し、正しい方へ導いて下さいます。

このことから、不動明王は石の上に立ち(座り)、火炎を背負い、忿怒のお顔で剣と散(煩惱を断ち切る)・厄除け(剣で邪悪なものを打ち碎くことが出来る)・学業成就(明王の明という字はサンスクリット語で知識や学問を意味するとされています)・身体健全(あらゆる悪いものを焼き尽くす)等々。

私たちはそのご利益を頂くため不動明王のことをしっかりとと思い手を合わせて真言をお唱えすることが大切です。不動明王のご真言は「のうまくさんまんだーばーざらだんせんだーまーからしやーだーそわたやうたらたーかんまん」です。ご真言とは、インドの古語サンスクリット語で書かれた仏様の言葉を音写したもので、お大師様が「ご真言」というのは不思議である。ご本尊を観想しながら唱えれば、根源的な無知の闇は除かれる。わずか二字の中に多くの道理が含まれ、それによって、この身のまま、悟ることが出来る」と説かれています。この短いご真言に多くの道理が込められていますので、不動明王にお手を合わせるときにはご真言もお唱えただすことによって、ご利益を授けてくださることだと思います。

不動院にお参りの際にはご本尊の『不空羈索觀音』様と共にぜひ『不動明王』様にもお手を合わせて頂ければ存じます。

合掌



不動院本堂「不動明王」様

### 不動院の松の「宿り木」について



### 不動院の井戸を復活しました



不動院の参道に並ぶ、ほとんどの古松に「宿り木」が見られます。マツグミという木で、赤い実を食べるとガムのようです。宿り木は、昔から、克服、忍耐を表し、縁起が良いものとされてきました。宿り木のある木は、とても健康でなかなか枯れることはないとされています。ヨーロッパでも宿り木は魔除けや幸福を招くものとして古くから信じられてきています。

不動院の参道に並ぶ、ほとんどの古松に「宿り木」が見られます。マツグミという木で、赤い実を食べるとガムのようです。宿り木は、昔から、克服、忍耐を表し、縁起が良いものとされてきました。宿り木のある木は、とても健康でなかなか枯れることはないとされています。ヨーロッパでも宿り木は魔除けや幸福を招くものとして古くから信じられてきています。

二十五年前に封鎖した井戸を復活いたしました。飲み水には向きませんが、災害の避難所になつたときのために境内の4カ所に蛇口を設置しました。



## 岡山共済広報7月号に掲載されました

**桃太郎と行く！ ぐりり岡山ウォーキング里庄町**

岡山県の西南部に位置する里庄町は、瀬戸内海特有の豊かな気候と美しい自然に恵まれ、町のあちらこちらで咲く四季折々の花々が訪れる人の心を癒してくれます。貴重な建築物や郷土芸能の大原踊など、町に残る有形無形の文化財が悠久の歴史を今に伝えています。

**里庄町データ**  
●人口:11,491人(令和3年3月31日現在) ●面積:12.23km<sup>2</sup>(令和3年4月1日現在)  
●郵便番号:706-0266  
●HP:<http://www.town.satosho.okayama.jp/>

**歩いてみよう！ 見どころガイド**

**1 つばさきの丘運動公園**  
設備の整った多目的のグラウンドがあり、サッカーや野球、グラウンドゴルフなど多種多様なスポーツが楽しめる運動公園。遊具農園など子ども広場や見晴らしのいい遊歩道もあり、展望デッキからは晴れた日なら瀬戸内海まで一望できる。  
TEL:0865-64-7260(公園管理事務所)  
●料金無料 ●なし

**2 三部山 不動院**  
1693(元禄6)年建立。小高い丘の上に、本堂や地蔵殿、鐘楼堂、庫裏など重厚な建造物が立ち並ぶ。境内に立てるする大原焼の陶器も見もの。高さ3mの大原焼の五重塔は名物として知られ、古瓦や銅鏡を使ったアートも豊富。  
TEL:0865-64-2102(仁科芳雄博士生家)  
●料金無料 ●なし

**3 仁科芳雄博士生家**  
日本の物理学の祖とされる仁科芳雄博士が、少年時代を過ごした生家。江戸中後期・偏中期頃の庄屋建築の様式に則った建物は、簡素でありながらも庄屋ならではの風格たたえている。屋敷の庭はよく咲く庭の草花が美しい。

TEL:0865-64-4888(仁科会館)  
●料金無料 ●なし  
●月~土曜:12:00~16:00

**里庄町内の観光スポット**

**里庄町歴史民俗資料館**  
町の歴史や民俗などに関する資料を展示し、特産品である大原焼も多数収蔵。資料館前に芝生広場があり、花壇にはリーガーなどの季節の花が咲き誇る。  
TEL:0865-64-5465  
●料金無料 ●なし  
●月~土曜:10:00~16:00  
●日曜・祝日:休館

**J.A.晴れの国岡山 里庄直売所「里ちゃん」**  
地元の朝市と野菜や果物などを販売。特産のまごたけの直売所で、力を入れており、秋の収穫シーズンには新鮮なまごたけを求めてたくさんの人々が訪れます。  
TEL:0865-64-3318  
●料金無料 ●なし  
●毎日:8:00~17:00  
●JR里庄駅から徒歩15分

**まだまだ！ ある！ 里庄町内の美味しいもの**

**里庄町のうまいもん**  
里庄町はもちろん庄内地方や矢掛町、笠置町などでも買付けがされた名産品。美味しいと評判の小麦で作られた、しっかりとシワや香りのいい小麦粉。

**まごたけ**  
たけのこのようなシャキシャキとした食感が特徴で、アーモンドやバナナの中間にちろん和洋食にも合います。またモカバー、ガーリックコロッケなどの加工品も人気。

**甘酒**  
里庄町はもちろん庄内地方や矢掛町、笠置町などでも買付けがされた名産品。美味しいと評判の小麦で作られた、しっかりとシワや香りのいい小麦粉。

**甘酒**  
甘酒は庄内地方や矢掛町、笠置町などでも買付けがされた名産品。美味しいと評判の小麦で作られた、しっかりとシワや香りのいい小麦粉。